

「水道事業広域化・広域連携に係る基礎資料作成業務」の委託について（案）

1 目的

持続可能な水道事業経営のための基盤強化の方策である広域化等を推進するため、末端給水事業の経営区域が隣接する長野市、上田市、千曲市及び長野県企業局が、令和2年度に厚生労働省が実施した「水道基盤強化計画策定に向けた水道施設の最適配置計画の検討業務」（以下「厚労省調査」という。）の調査結果を踏まえて、さらに当該経営区域に係る事業運営や組織体制の視点から最適な広域化等の形態について検討する。

2 業務内容

厚労省調査において把握した基本条件について再度確認し、水需要推計の見直しを行った上で、事業統合を含む広域化等の形態を複数設定し、それぞれの財政面、組織面等への影響を整理するとともに、設定した形態により財政シミュレーションを実施し、広域化等の形態の比較検討資料を作成する。

3 想定される広域化等の形態

①事業統合 ②経営の一体化 ③新規用水供給事業の創設 ④管理の一体化 ⑤施設の共同化 等

4 調査対象事業

長野市、上田市、千曲市及び坂城町の地域内の水道事業の給水区域全域

5 費用負担

委託業務に要する経費は、長野市、上田市、千曲市及び長野県企業局が、それぞれの末端給水事業における給水人口の割合により負担する。

6 主な業務スケジュール

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広域化等の形態の設定							
		施設整備計画の精査・見直し			<ul style="list-style-type: none"> 既存施設の更新（廃止）時期の検討 施設能力、規模の決定 整備手順、内容の審査 整備費用の精査 認可、設計等を含む年次計画の見直し 等 		
		財政シミュレーション					
		<ul style="list-style-type: none"> 設定した広域化等の形態により、財政シミュレーション（将来50年程度）を実施。 評価項目は、給水原価、供給単価、起債残高、資金残高他の指標を用いる。 					